

ソドムの市 (2004)

メディア 映画
ジャンル ホラー
製作国 日本
色彩 Color
時間 104分
初公開日 2004/10/16
公開情報 ユーロスペース

【キャッチコピー】

因縁因果の業深く、呪いと復讐の一大地獄絵巻！

【解説】

同型のDVカメラによる撮影、同一予算、エンターテインメント作品という条件で、日本映画界を代表する監督と気鋭の新人たちが競い合う『映画番長』プロジェクトの第3弾、“ホラー番長”シリーズの1本。「リング」の脚本などで知られる高橋洋監督が、遙かなる時を超えて襲い掛かる因果の呪いが巻き起こす壮絶な地獄絵巻を描く。

遙か昔18世紀のこと。領主、俎渡海市兵衛の婚礼のさなか、花嫁が血を吐き死んでしまう。市兵衛は腰元のテレーズとキャサリンの仕業と決めつけ、怒りもあらわに2人を責め殺すのだった。しかしそれは全くの濡れ衣。2人は死の間際、“この怨み、必ずや報いてやる”との言葉を残し、復讐を誓う…。それから300年後の現代、市兵衛の子孫、俎渡海市郎は市兵衛の非道な血を受け継ぎ、子どもの頃からいくつもの人の命を奪ってきた。しかし成長した市郎がいよいよ花嫁を迎えようとしたその時、ついに2人の腰元の怨念がこの世に甦るのだった…。

【クレジット】

監督	高橋洋	
プロデューサー	堀越謙三 平田樹彦 大野敦子	
脚本	高橋洋	
撮影	木暮洋輔	
美術	山本直輝	
編集	石谷岳寛	
音楽	長瀧寛幸	
照明	根本伸一	
助監督	安里麻里	
出演	浦井崇 小嶺麗奈 中原翔子 園部貴一 宮田亜紀 吉行由実 小水ガイラ 秋本奈緒美 津田寛治	俎渡海市兵衛・市郎 テレーズ マチルダ五月／宮廷の女 蛇吉／従者A 俎渡海キャサリン 俎渡海典子／針縫いのお婆／尼僧 ガイラ飛行隊長 黄少年の母 暴徒

